

1. Report No. UMTRI-2014-6	2. Government Accession No.	3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle 193 カ国における交通死亡事故： 他の主要な死亡原因との比較		5. Report Date February 2014	6. Performing Organization Code 383818
		8. Performing Organization Report No. UMTRI-2014-6	
7. Author(s) Michael Sivak and Brandon Schoettle		9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation http://www.umich.edu/~umtriswt		10. Work Unit no. (TRAIS)	
		11. Contract or Grant No.	
15. Supplementary Notes		13. Type of Report and Period Covered	
		14. Sponsoring Agency Code	
16. Abstract <p>この研究では、世界の各国に対して、人口当たりの交通死亡事故数を、全ての死亡原因の内、3つの主要な死亡原因（悪性腫瘍、虚血性心疾患、脳血管疾患）による人口当たりの死亡数で比較した。利用可能な2008年の世界保健機構データが基になっている。</p> <p>調査結果は以下の通りです：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 全世界において、人口10万人あたり悪性腫瘍の死亡数が113、虚血性心疾患が108、脳血管疾患が91であるのと比較して、交通死亡事故は18であった。交通事故における死亡比率が最も高かったのは、ナミビアで45であり、最も低かったのは、モルジブで2であった。米国における比率は14であった。 (2) 全世界において、交通死亡事故は全ての原因による死亡者数の2.1%を占めた。最も割合が高い国はアラブ首長国連邦で15.9%、割合が最も低い国はマーシャル諸島で0.3%であった。米国の割合は1.8%であった。 (3) 全世界において、交通死亡事故数は、悪性腫瘍による死亡数の15.9%に対応する。最も割合が高い国は、ナミビアで153.9%、割合が最も低い国はモルジブで1.7%であった。米国の割合は7.7%であった。 (4) 全世界において、交通死亡事故数は、虚血性心疾患による死亡数の16.7%に対応する。最も割合が高い国はカタールで123.9%であり、最も割合が低い国はマルタで1.9%であった。米国の割合は10.1%であった。 (5) 全世界において、交通死亡事故数は脳血管疾患による死亡数の19.6%に対応する。最も割合が高い国は、カタールで529.7%であり、最も割合が低い国はマーシャル諸島で2.3%であった。米国の割合は30.8%であった。 <p>付録では各国の比率と割合を示しています。</p>			
17. Key Words 交通事故, 公衆衛生の展望, 主要な死亡原因, グローバル, 世界的な, 悪性腫瘍, 心疾患, 脳梗塞		18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None	20. Security Classification (of this page) None	21. No. of Pages 43	22. Price